

水筒のお茶をかけるなどにより、一丸となって消火活動を行い鎮火させたものです。

しやくなげ小屋同好会の消火作業がなければ、大きな山火事になり、失火を起こした登山者への被災も危ぶまれた状況であり、本消火作業について著しい功労があったことから、四国森林管理局長表彰を行いました。

森林教室



教科書の内容で

森林教室

〈徳島森林管理署署〉

一月二三日、徳島市川内北小学校で小学五年生(一二五名)を対象とした森林教室を行いました。

今回の森林教室は、社会科学学習の「環境を守る

人々の授業で、生活環境を守る・国土を守るという内容で学校から依頼され実施したものです。

まず、森林の働きを説明し、DVD「木材を使って地球を救う」の鑑賞、そのあと販売事業や治山事業など森林管理署の仕事について話しました。生徒たちはメモをとりながら真剣に聞いていました。

質問時間には、「どうやって樹齢を調べているのですか?」「木の種類をどうやって見分けているのですか?」などの質問もあり興味津々でした。

また、森林教室の冒頭、「木を切ることは悪いこと?」と質問したところ、全員が手を挙げていましたが、最後にもう一度聞くと手は挙がりませんでした。間伐など森林整備の重要性が理解されたものと思います。

当署では、森林の公益的機能や木材利用についての理解を深めてもらうため、地域や学校の要望にこたえつつ、今後とも計画的に森林環境教育を実施していきたいと考えています。

はじめての林業体験

〈株菅組 体験林業〉

〈香川森林管理事務所〉

一月一五日、香川県綾歌郡綾川町檜原国有林において、(株)菅組の社員一二名による体験林業を行い、鋸を使ったヒノキの伐採や枝打ちを行いました。

(株)菅組は、創業が明

治四二年と、およそ一〇〇年の歴史を持つ総合建設会社であり、特に宮大工の系譜にあることから、社寺をはじめとして、公共施設、住宅などの建築に数多くの実績があります。また、代表取締役社長の菅徹夫氏は、「近くの山の木で家をつくる」を提唱・実践する「讃岐の舎づくり倶楽部」の代表を務めており、香川県地域材の利用促進に積極的に取り組んでいます。



菅組の社員の方による間伐作業

今回の体験林業は、菅社長から、社員に対して、林業体験を通じて環境保全への意識を一層高める機会を提供したいとして申請があったものです。はじめに当所職

員から、作業方法について説明し、伐採の実技を行った上で体験林業を開始しました。当日は、風がなかったものの、当該箇所は枝の張ったヒノキが大部分で、かかり木処理に苦労しながらも、当所職員の指導を受け作業を行いました。

参加した社員の皆さんからは、「思うように鋸で伐れない」、「思った方向に倒れない」といった声

が聞かれ、林業の難しさを感じていたようでした。

また、現在のようにチェーンソーが導入される以前は、大径木も全て鋸で伐採していたことに対して、先人の苦労に思いを馳せていました。

作業終了後は、自然の中で労働したことによる心地よい疲労感からか、

最後に、菅社長から、今後については会社の社会貢献活動として、森林の整備・保全に取り組みたいとして、国民参加の森林づくりである「社会貢献の森」の協定締結の意向が示され、当所としても協定締結に向け協力していくこととします。

最後に、菅社長から、今後については会社の社会貢献活動として、森林の整備・保全に取り組みたいとして、国民参加の森林づくりである「社会貢献の森」の協定締結の意向が示され、当所としても協定締結に向け協力していくこととします。

最後に、菅社長から、今後については会社の社会貢献活動として、森林の整備・保全に取り組みたいとして、国民参加の森林づくりである「社会貢献の森」の協定締結の意向が示され、当所としても協定締結に向け協力していくこととします。

日本一名前の長い 中学校で森林教室を 実施

〈愛媛森林管理署〉

二月十九日、日本一名称が長いことで知られる

高知県宿毛市愛媛県南宇和郡愛南町篠山小中学校組合立篠山中学校の二年

生五名を対象に、森林教室を開きました。

これは、総合的な学習の時間を使い「身近な森林の大切さや自然環境のすばらしさを理解させること」を目的として、篠山中学校からの依頼により平成二〇年から行っているものです。

まず、当署森林ふれあい係長と南宇和森林事務所森林官が、森林の役割や人工林の保育作業について

の説明を行って質問を受けました。父親が林業に従事している生徒が

二名いたため、専門的な質問もありましたが、他の生徒や先生方にわかるようにとできるだけ専門用語を使わないよう、イラストや写真を使い工夫しながら説明を行いました。

その後、経営係長が講師となり、事前に準備していた「ツヅラフジ」を使い「カゴづくり」を行いました。経営係長からは、「人工造林地では邪魔者のつる類ですが、こういった利用方法もあります。」との説明等の後、悪戦苦闘しながらかごを編みました。残念なが



質問をしている生徒

ら、完成前に予定時間が終了となりましたが、「カゴづくりは楽しかった。完成したら写真を送ります。」といった感想が聞かれました。

今後とも、当署では、森林環境教育を通じ、森林の大切さや自然環境のすばらしさなどを伝えていけるように取り組んで参ります。



つるカゴづくりの説明

四国森林・林業研究発表会課題及び審査結果

発表順	発表課題	発表者		審査結果
		所属	氏名	
1	教科書とリンクした補完プログラム	四万十川森林環境保全ふれあいセンター 自然再生指導官	古味 敏光	四国森林管理局 局長賞 (優秀賞)
2	住宅建築用の端材を活用した木工教室	高知市一ツ橋小学校区青少年育成協議会 会長 和建設株式会社 シンカ事業部工事主任	大谷 清 辻 信一	
3	屋島国有林における落石対策の検討と整備～優先順位判定と実施状況について～	香川森林管理事務所 主幹 (治山第二担当)	澤村 昭文	(財)日本森林林業振興会会長賞
4	工事箇所等における写真撮影の方法について	四万十森林管理署 治山課長 治山第二係長	徳満 千秋 猪迫 啓司	四国森林管理局 局長賞 (最優秀賞)
5	「三嶺山城におけるニホンジカの食害跡地の初期遷移とヤマヌカボによる緑化」	高知大学理学部 生物科学コース4年 生物科学コース4年 高知中部森林管理署 流域管理調整官	吉原 良 町田 華澄 川口 文明	四国森林管理局 局長賞 (優秀賞)
6	「津志嶽 ^{っしだけ} シャクナゲ郷土の森」の設定について	つるぎ町役場 地域創造課 係長 徳島森林管理署 流域管理調整官	大島 理仁 柏木喜代幸	
7	ツリーシェルターを用いた低コスト造林について	住友林業フォレストサービス株式会社 森林企画部係長	川島 義紀	一般社団法人日本森林技術協会 理事長賞
8	溪流生態系に配慮した治山施設	愛媛森林管理署 治山第一係長 治山第二係長	福田 薫 浜田 淳史	
9	大好き！わたしたちのふるさと ^{くちやない} 口屋内一川漁体験をとおして	四万十市立 ^{くちやない} 口屋内小学校 5年生 5年生 6年生	上戸 星空 渡辺 舞奈 松田 侑也	四国森林管理局 局長賞 (奨励賞)
10	段ノ谷山国有林を活用した地域活性化について	^{さきはま げんき} 佐喜浜の源木を育てる会 会長 安芸森林管理署 森林ふれあい係長	田村 拓 吉田 純一	
11	箱わなによるシカ捕獲試験 ～経過報告～	四国森林管理局 森林技術センター 森林技術普及専門官	鷹野 孝司	四国森林管理局 局長賞 (優秀賞)

発表順	発表課題	発表者		審査結果
		所属	氏名	
12	竹の利用について	高知県立四万十高等学校 自然環境コース3年生 普通科 3年生	酒井 千尋 藤本 真代	四国森林管理局 局長賞(奨励賞)
13	大山岬あずまや製作 project	高知県立高知工業高等学校 建築科3年生	楠瀬 遙 小松 陸男 坂本 香	四国森林管理局 局長賞(奨励賞)
14	抵抗性マツ試植検定林 における成育現況につ いて ※特別発表	(独) 森林総合研究所 林木育種センター 関西育種場 育種研究室長 研究員 四国増殖保存園 増殖保存係 契約職員	磯田 圭哉 岩泉 正和 河合 貴之 岡村 政則	
15	愛媛県の5万分の1土 壌図のGIS化とス ギ・ヒノキ地位級分布 図の修正 ※特別発表	愛媛県農林水産研究所林業研究センター 研究指導室長	豊田 信行	
16	徳島県の低コスト育林 への取組 ※特別発表	徳島県立農林水産総合技術支援センター 森林林業研究所 主任研究員 主任研究員	金磯 牧夫 西澤 元	
17	シキミのフシダニ被害 の防除技術に関する研 究 ※特別発表	高知県立森林技術センター 主任研究員 チーフ(森林保護担当)	藤本 浩平 宮田 弘明	
18	低コスト育林に関する 研究 —スギ植栽地における 下刈り対象木の競合度 合いと成長の関係— ※特別発表	(独) 森林総合研究所 四国支所 研究員	北原 文章	

